

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達障害IV (発達段階の評価と指導：言語獲得期以降)		講義	石井 喜代香	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
この講義は、これまで学んだ言語発達学や生涯発達学等をベースとなるものである。語彙獲得以降の段階から読み書きの段階について、評価と指導について学ぶ。また、各発達段階と知的障害や発達障害等の障害特性を重ねあわせて考えていく必要があるため、評価のポイントや指導での特性の活かし方、さらに様々な指導法についても講義する。				
授業の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙獲得以降の評価、指導について理解できる。 2. 定型発達の言語発達について知識を再確認し、評価に結びつけることができる。 3. 言語の4側面（音韻、意味、統語、語用）から言語の問題点を評価できる。 4. 様々な指導法について知り、理解することができる。 				
授業計画				
回	内容			
1	単語獲得期の確認 前期構文獲得期の評価と指導①			
2	前期構文獲得期の評価と指導②			
3	中期構文獲得期の評価と指導①			
4	中期構文獲得期の評価と指導②			
5	談話の評価と指導①			
6	談話の評価と指導②			
7	学童期の評価と指導①			
8	学童期の評価と指導②			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
入門コース ことばの発達と障害3 ことばの障害の評価と指導	大石敬子 編	大修館書店		
言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版	石田広代、大石敬子 編	医歯薬出版		
言語発達障害学 第2版	玉井ふみ 編	医学書院		
言語聴覚療法シリーズ 10 言語発達障害 I	大貝 茂	建帛社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				